



公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

PROGセミナー2013

動き始めたジェネリックスキルの育成と評価
—教育改革の現場から見える成果と課題—
「大学からの事例報告」

学生の就業意識 と ジェネリックスキル

宮城大学食産業学部 木村和彦

2013.6.15 仙台

本日の内容

- 大学・学部紹介
- ジェネリックスキル：PROG導入
- 就業意識：R-CAP導入
- 解析結果から見えてきたこと
- 今後の課題



ジェネリックスキル



自己分析・適職発見プログラム

宮城大学食産業学部 1

- H9：事業構想学部&看護学部 宮城大学（県立大学）開学
- H17：食産業学部 設置
 - 農業関係，食品製造・販売関係，農業土木がターゲット
 - **文系と理系の両方を学ぶ（特に，ファーム&フード）**

	定員	(前期)	(後期)	(推薦)	(外国人)
ファームビジネス学科, Fa	42	20	8	12	2
フードビジネス学科, Fo	52	25	10	15	2
環境システム学科, En	31	14	6	9	2

- **宮城県出身者 約6割（減少傾向）**
- **男：女 約 5:5～3:7 →女性が多い（特にフード）**
- 入試難易度：国公立農学系の易
 - センター試験受験者の合格最低点レベル
得点率：60%弱～70%弱程度
Fo > Fa > En, 後期 > 前期

宮城大学食産業学部 2

● 就職状況はよい

- **大部分が就職**（公務員は数%），大学院進学は10-20%
- **就職率は毎年ほぼ100%**
 - 大手は若干名で，中堅クラス&地元の会社が大半

しかし

● 就職活動の問題

- 学力が高い学生でも大手は厳しい。
- 中位の学生と思っても，**内定が取りにくい学生**がいる。
- **ESレベルの文章でも苦手**な学生が多い。
- **グループ面接やグループディスカッションが苦手**。

なぜPROG？

- **学習・就活でがんばらない（がんばれない）
学生の存在**
 - 努力しない学生：妙な楽観論
 - 対人力が弱い。特にグループ面接
 - 就職率が高いので？ 無関心な教員が存在
- **PROG導入の目的**
 - 実態分析** **要因解析** **改善方法**

PROGとR-CAP

- 受験者：3年生（キャリア開発の授業）
- PROG：2012年11月（学士力→教務）
 - 受験者：133名（解析は2010年入学者のみ）
- R-CAP：2012年10月（キャリア支援）
 - 受験者：117名（解析は2010年入学者のみ）

R-CAP（心理テスト）

自己分析・適職発見プログラム

価値観， 指向， 興味， 関心を測定

どんな仕事に向くか？ **キャリア指導**

R-CAP

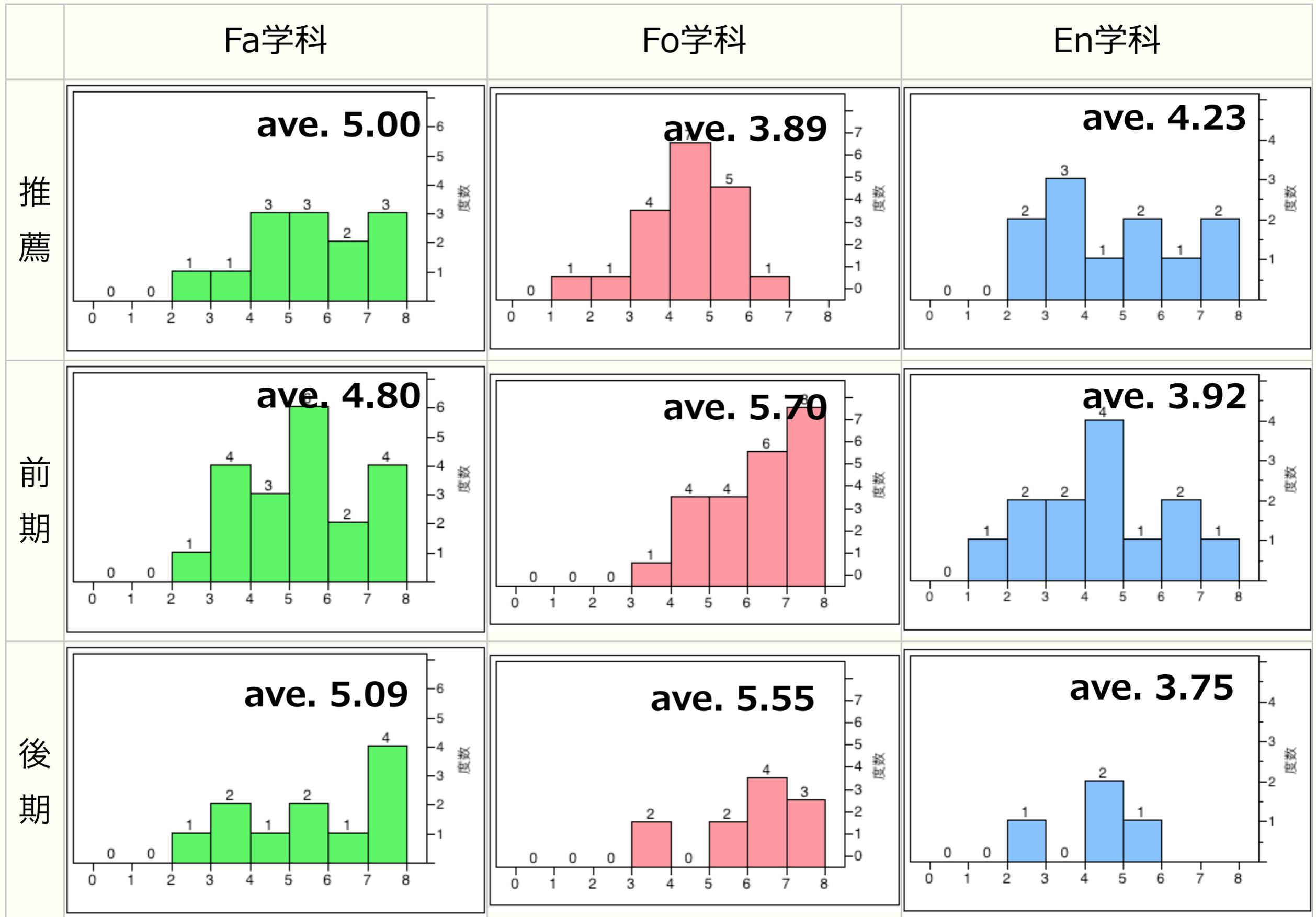
● Locus of Control : ロッター (1966)

Internal 能動的	External 受動的
原因を自分に 成功は自分の努力と解釈	原因を自分以外に 失敗の原因は自分以外
個人プレー 指示が多いと嫌	チームプレー 明確な指示が好み
できそうだと思うことは努力/諦める	難問に黙々と取り組む

● General Incongruity Adaptation Level, GIAL

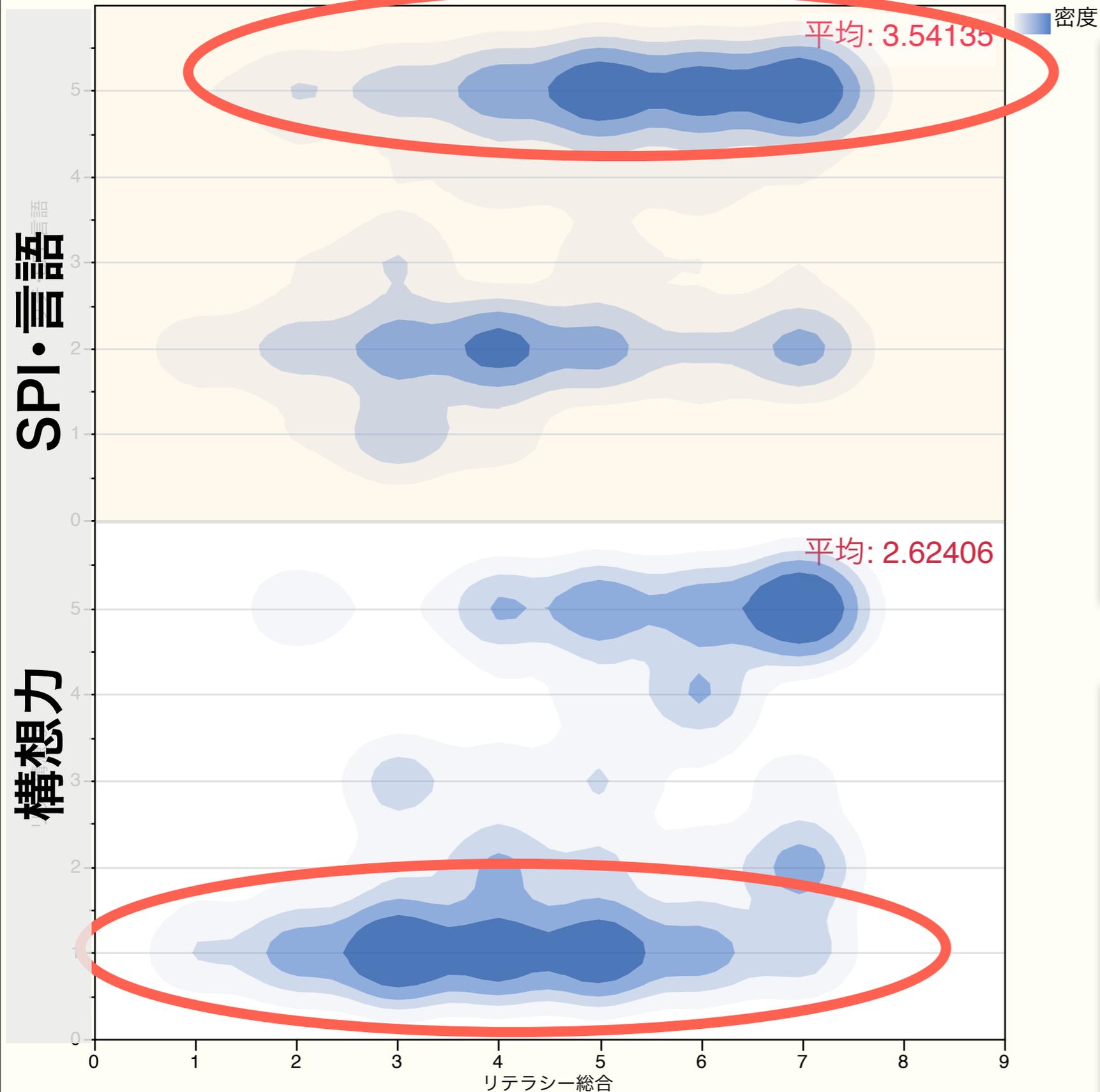
	Certainty 確かさ	Uncertainty 不確かさ
慎重 vs 楽観	リスク軽減	リスク覚悟
安定 vs 変化	安定指向	変化好み
一様 vs 多様	同じ人	様々な人との出会い
既知 vs 未知	計画重視	計画よりはまず行動

リテラシー総合の度数分布（学科・入試別）



 正規分布 or 左に裾を引く

X:リテラシー総合,Y:リテ・構想力,リテ・SPI・言語

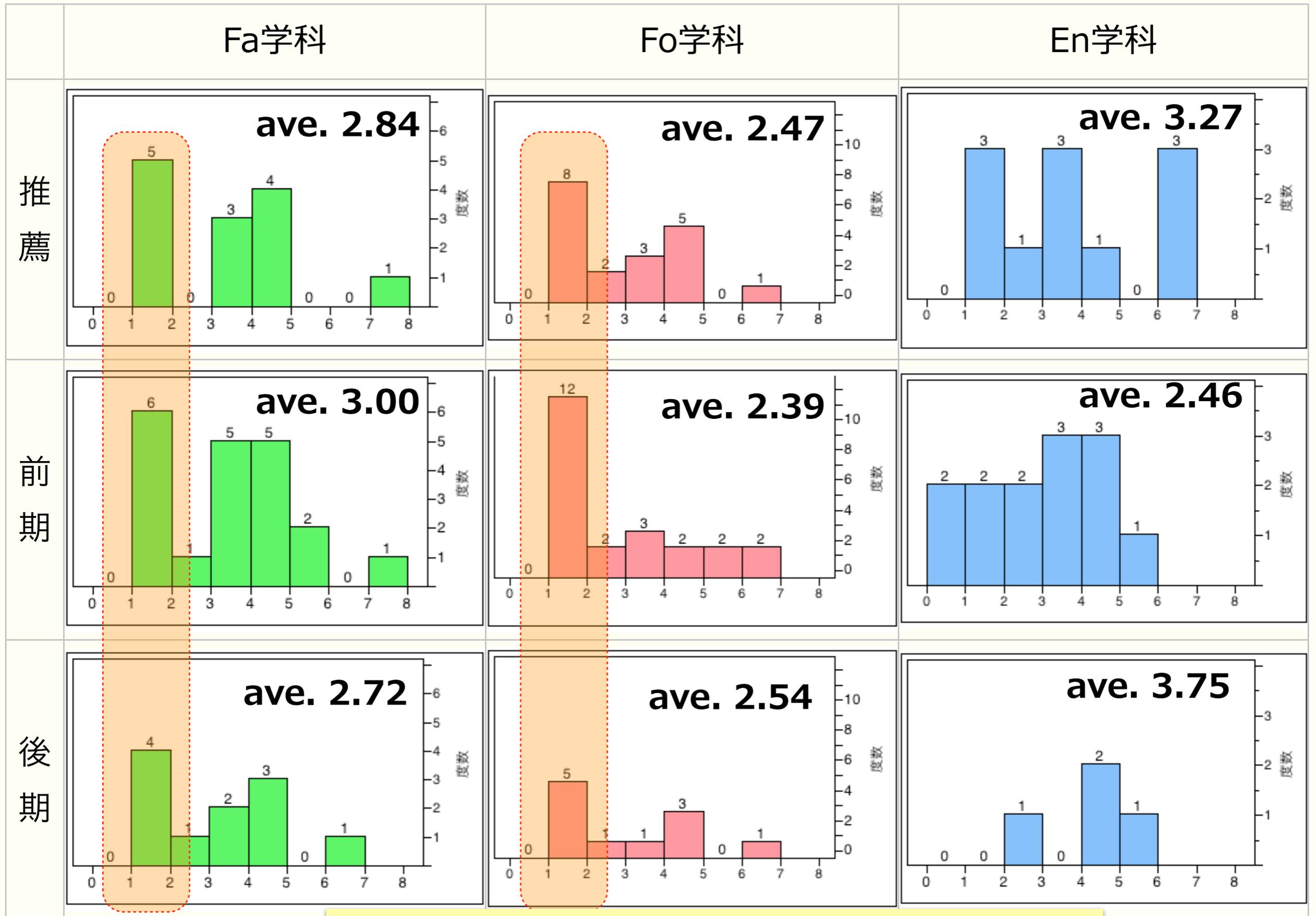


リテラシー項目

- 情報収集力
- 情報分析力
- 課題発見力
- 構想力
- 言語処理力
- 非言語処理力

構想力が弱い

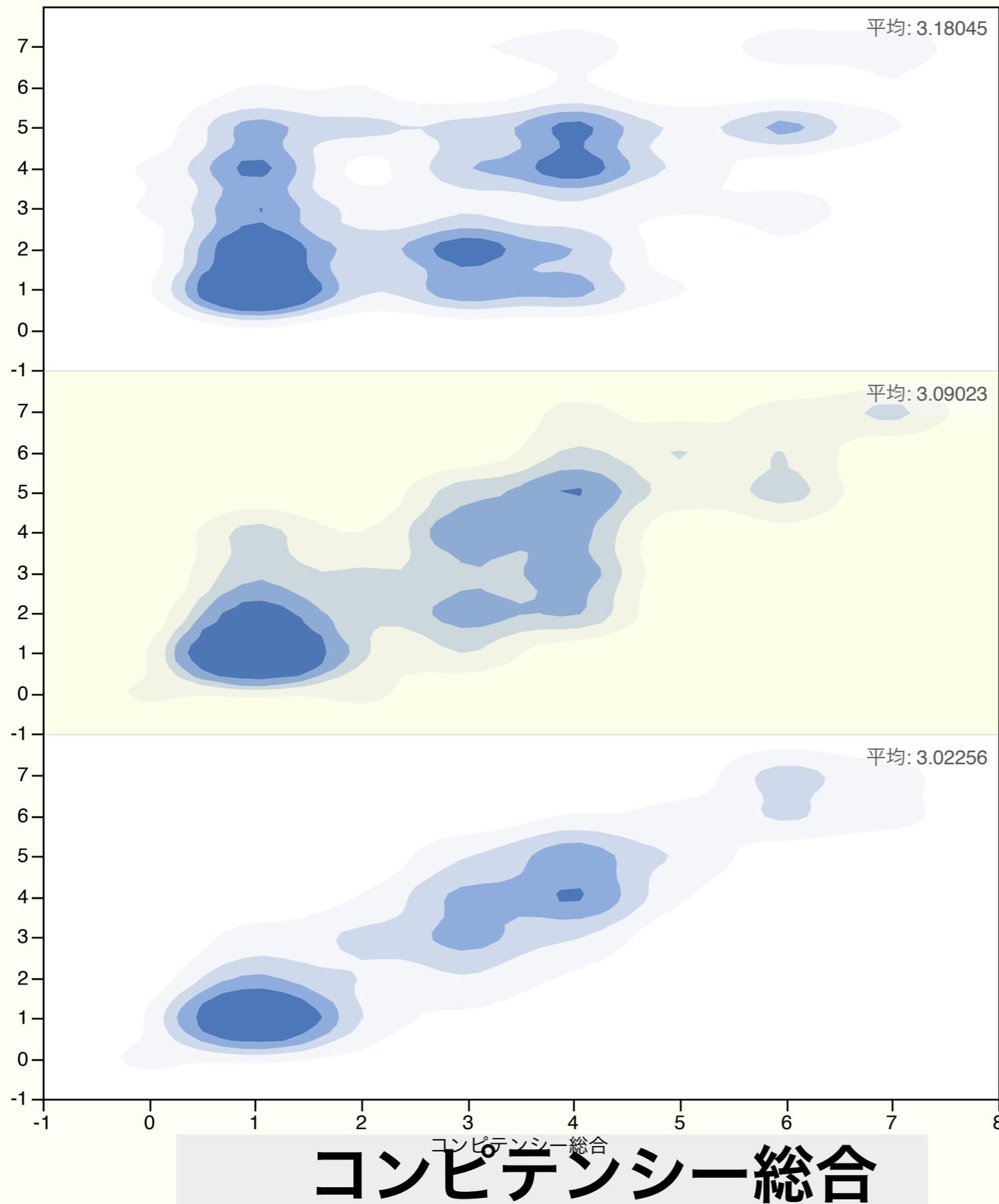
コンピテンシー総合の度数分布 (学科・入試別)



📍 スコア1が多い (Fa & Fo)

X:コンピテンシー総合,Y:対人基礎力,その他(2)

対課題基礎力
対自己基礎力
対人基礎力



密度

コンピテンシー中項目
対人基礎力

対自己基礎力

対課題基礎力

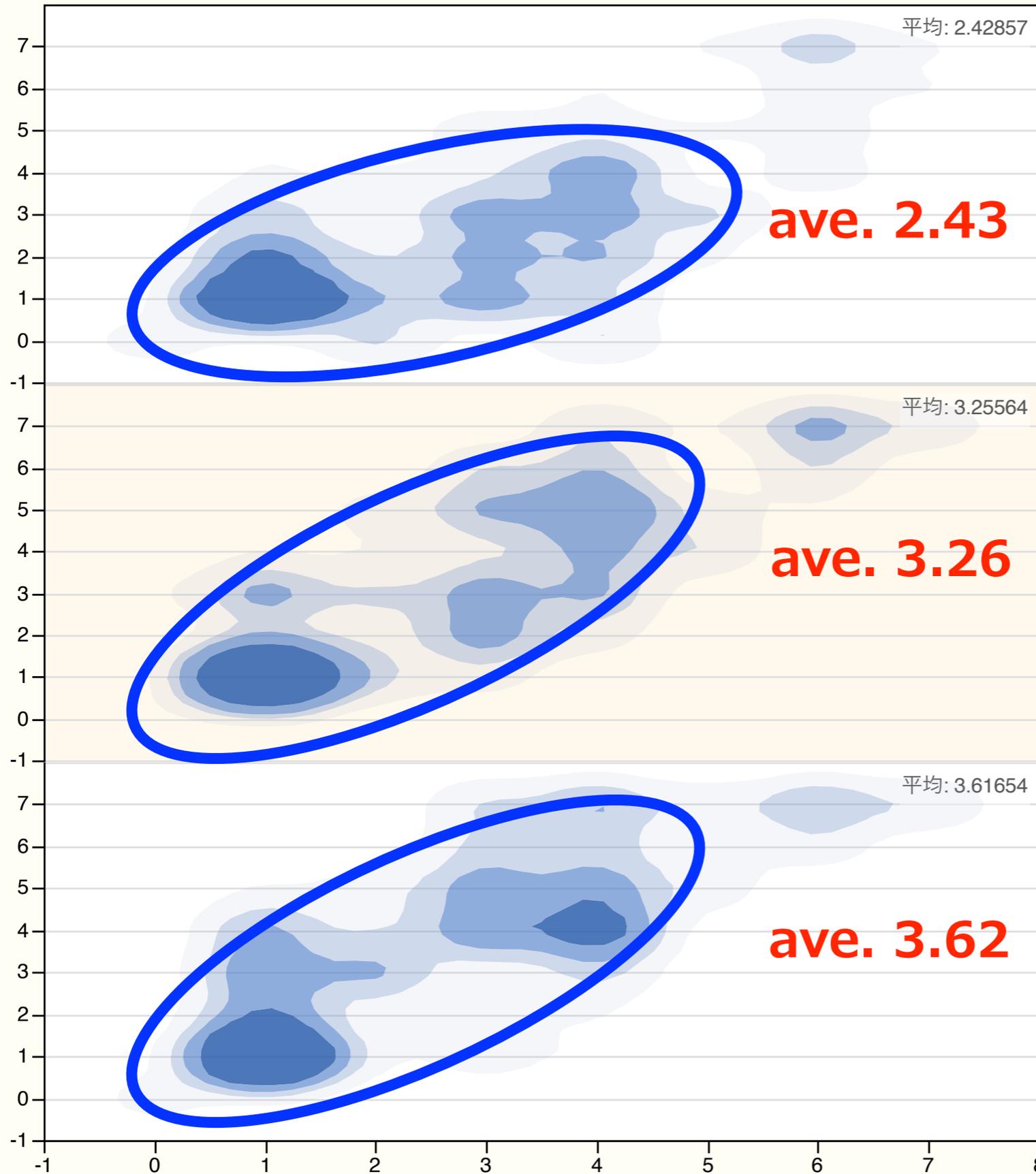
他の国公立に比べて、
全体的にやや低い

X:コンピテンシー総合,Y:親和力,その他(2)

統率力

共同力

親和力



コンピテンシー総合

密度

コンピテンシー
対人基礎力 項目

親和力
共同力
統率力

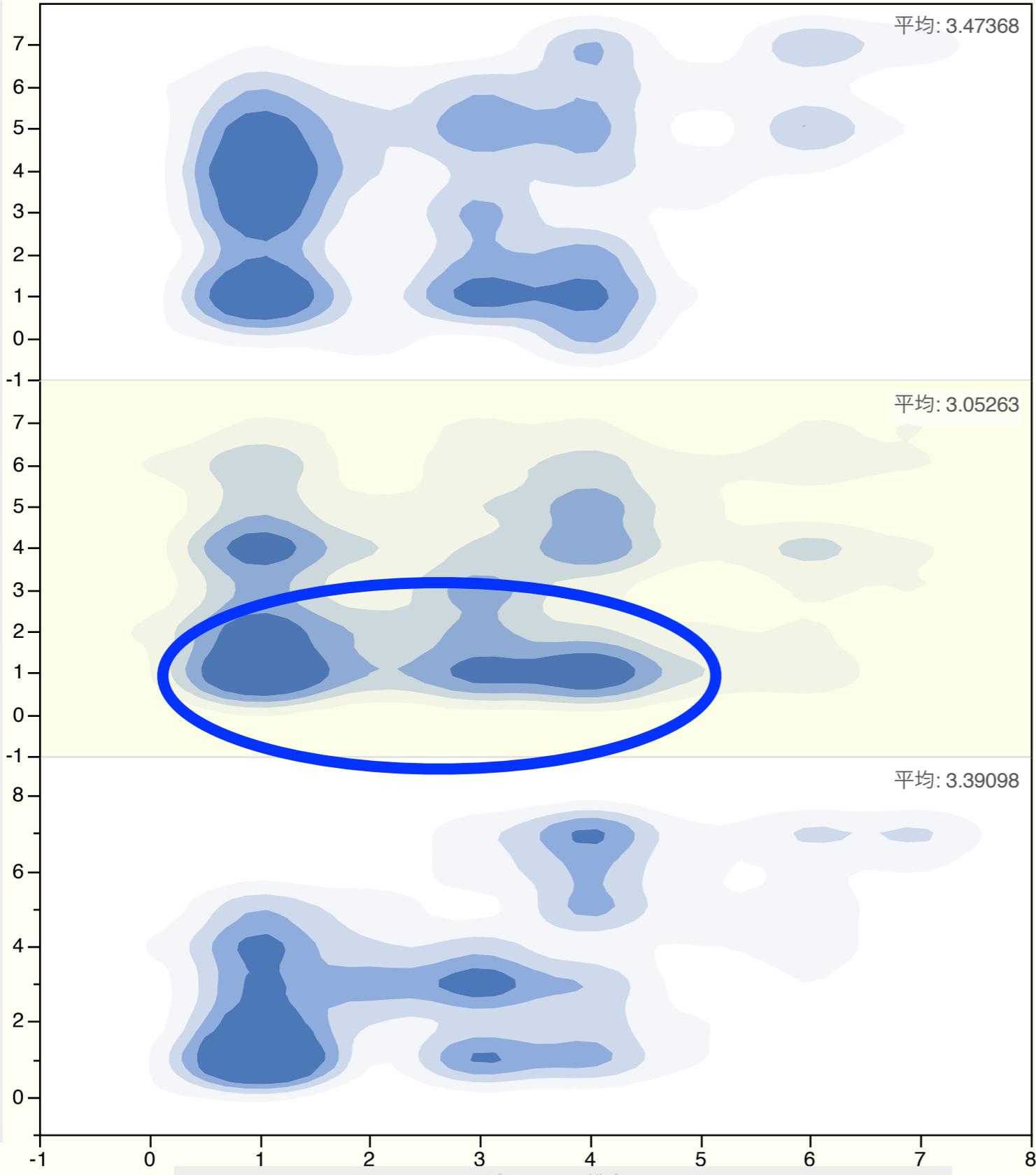
統率力が特に弱い

X:コンピテンシー総合,Y:課題発見力,その他(2)

実践力

計画立案力

課題発見力



密度

コンピテンシー 対課題基礎力項目

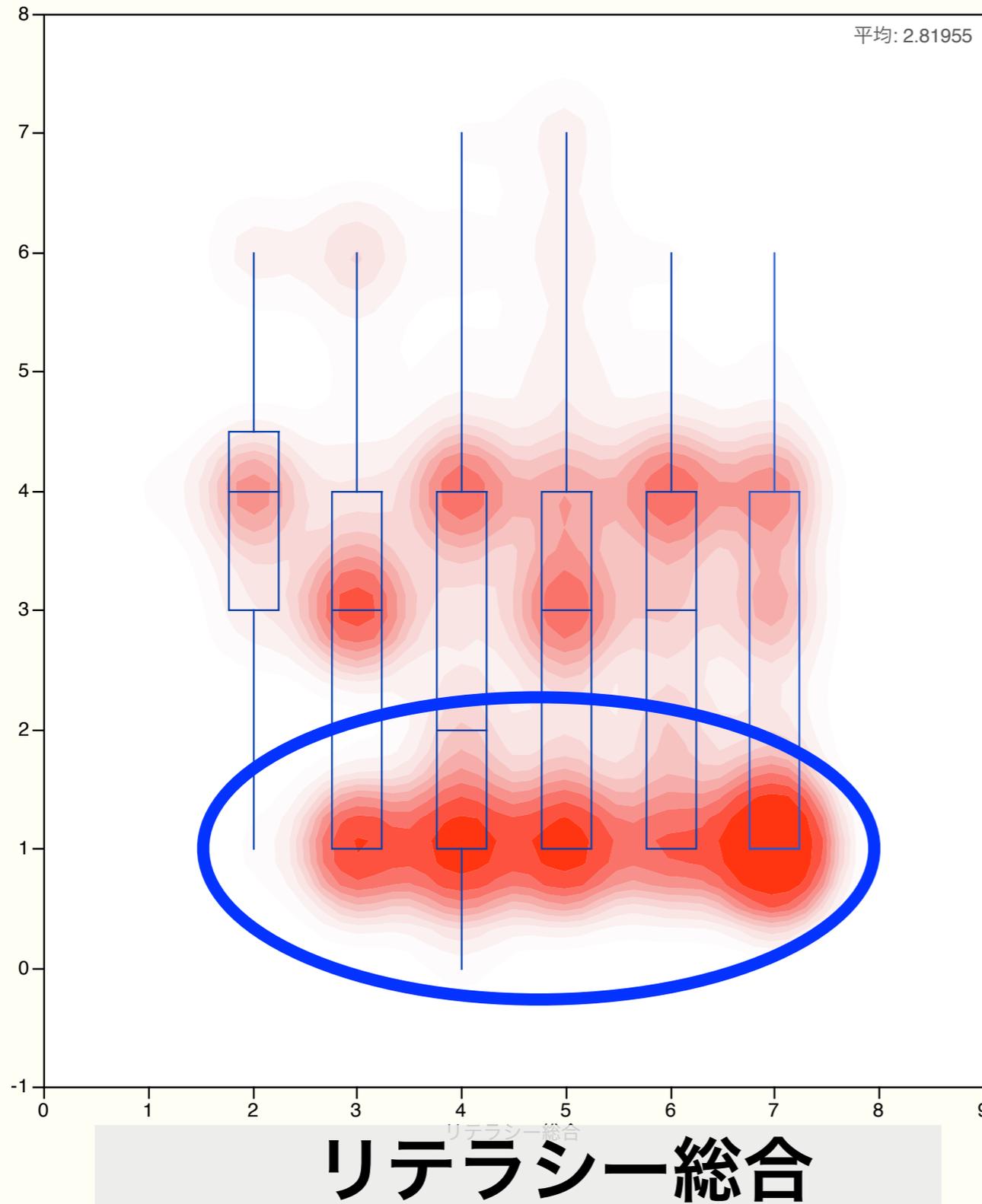
- 課題発見力
- 計画立案力
- 実践力

計画立案力が弱い

コンピテンシー総合

リテラシーとコンピテンシーは無相関

X:リテラシー総合,Y:コンピテンシー総合

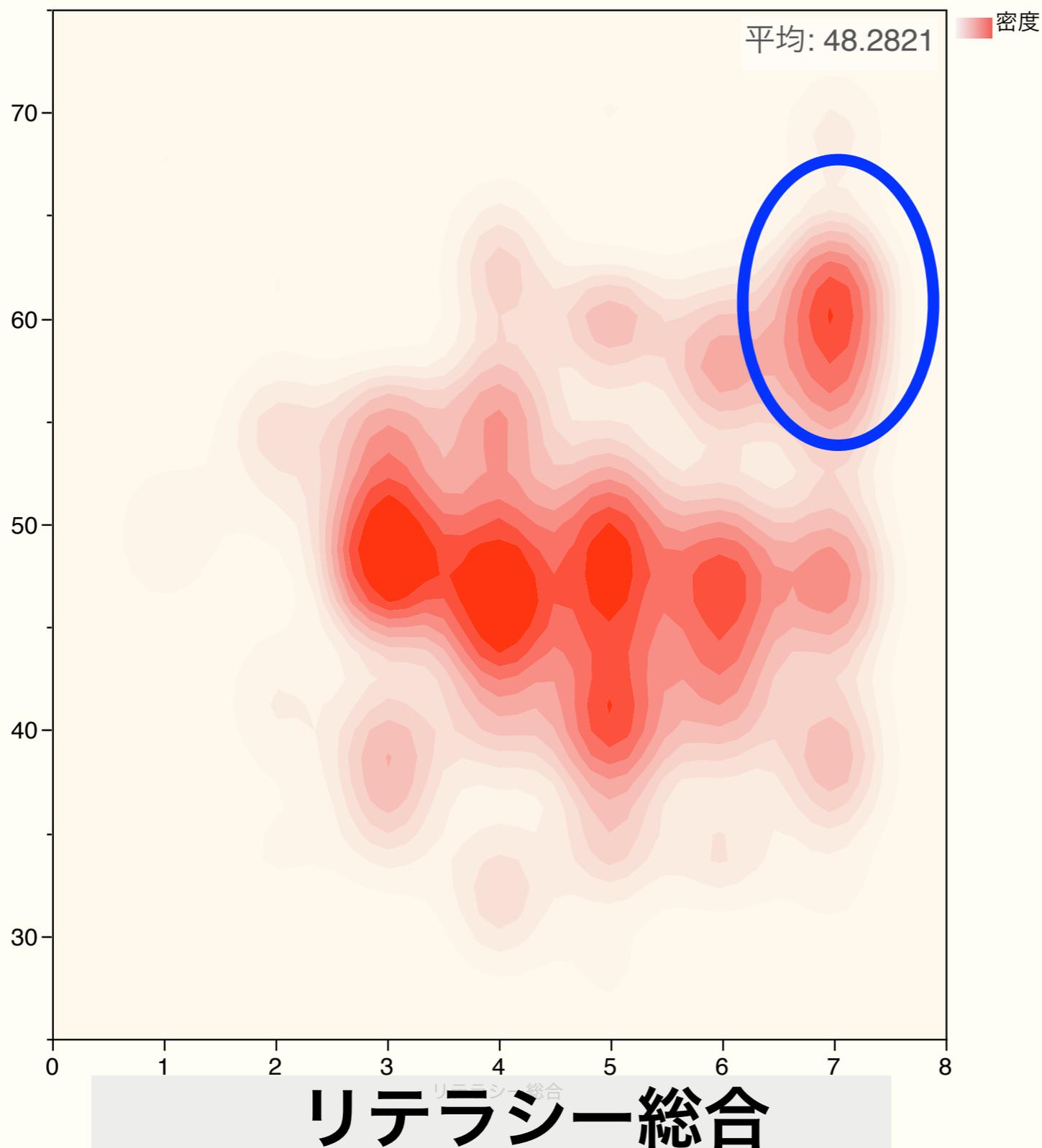


リテラシーが高くてもコンピテンシーが低い学生が多い

リテラシー vs Locus of Control

X:リテラシー総合,Y:Locus_Locus

Locus of control

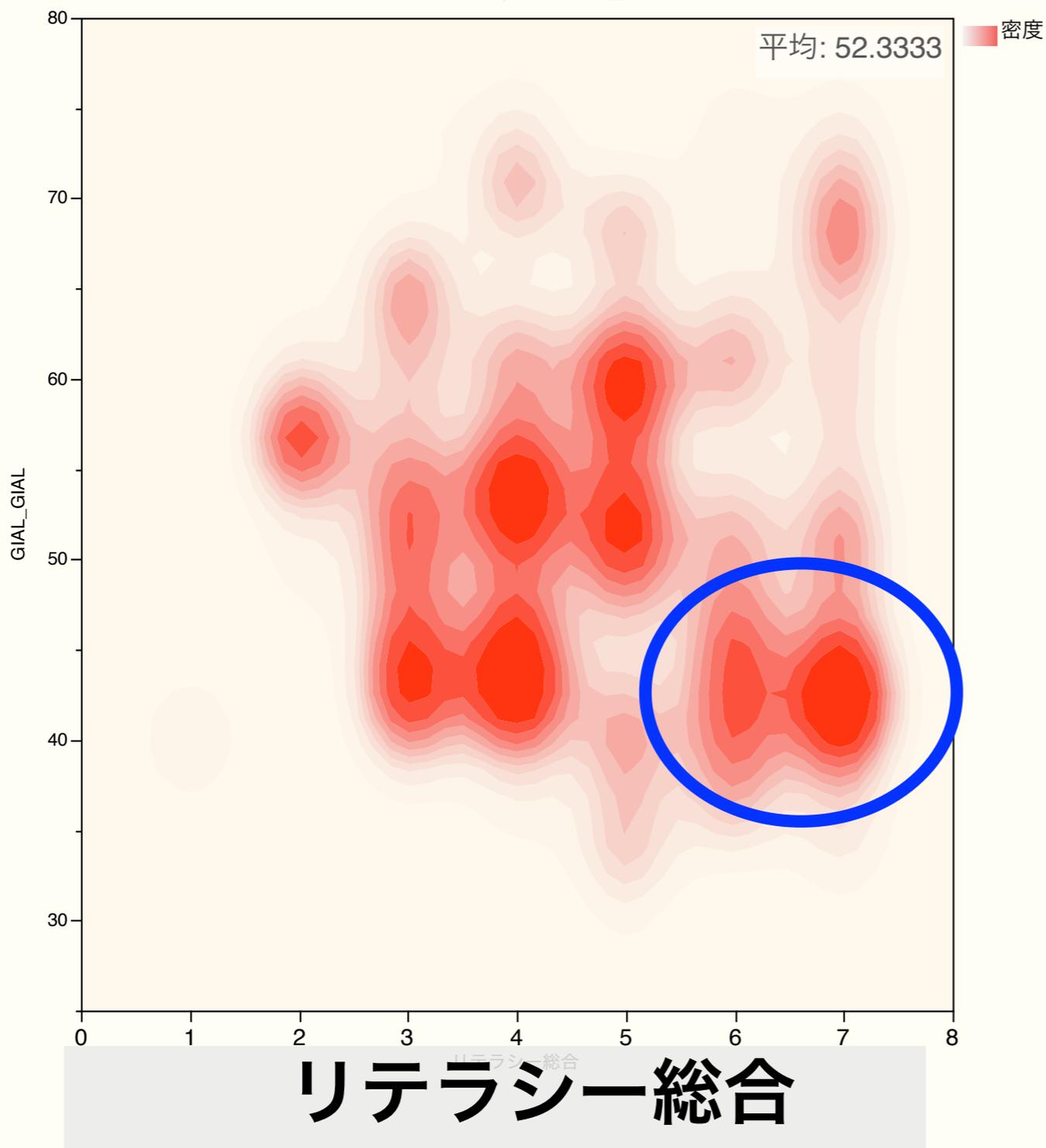


リテラシーが高い
学生に, External
指向の学生が多い

原因を自分でない
外的環境に求める

リテラシー vs GIAL

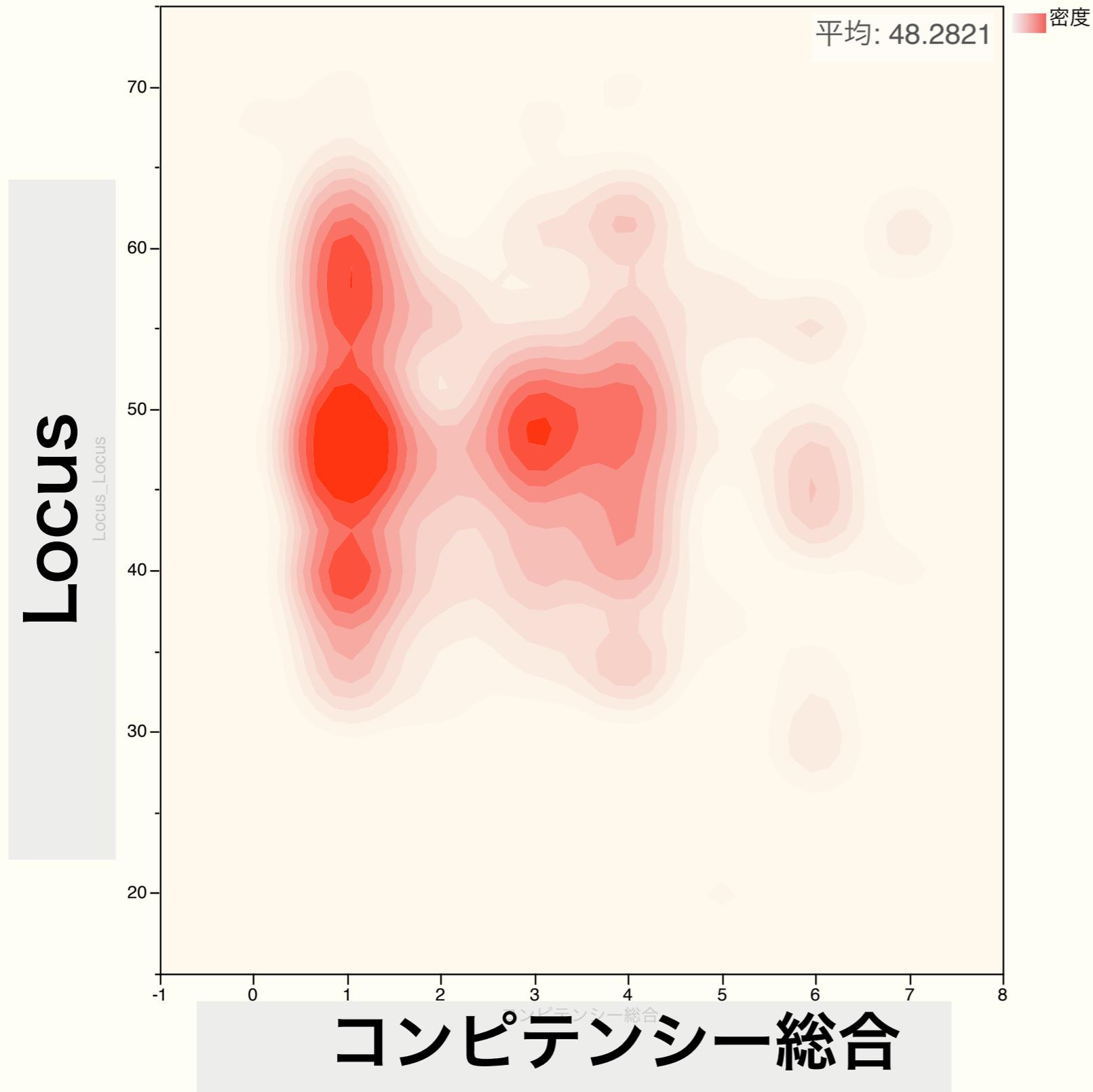
X:リテラシー総合,Y:GIAL_GIAL



リテラシー高い場
合にはGIALが低く
安定志向

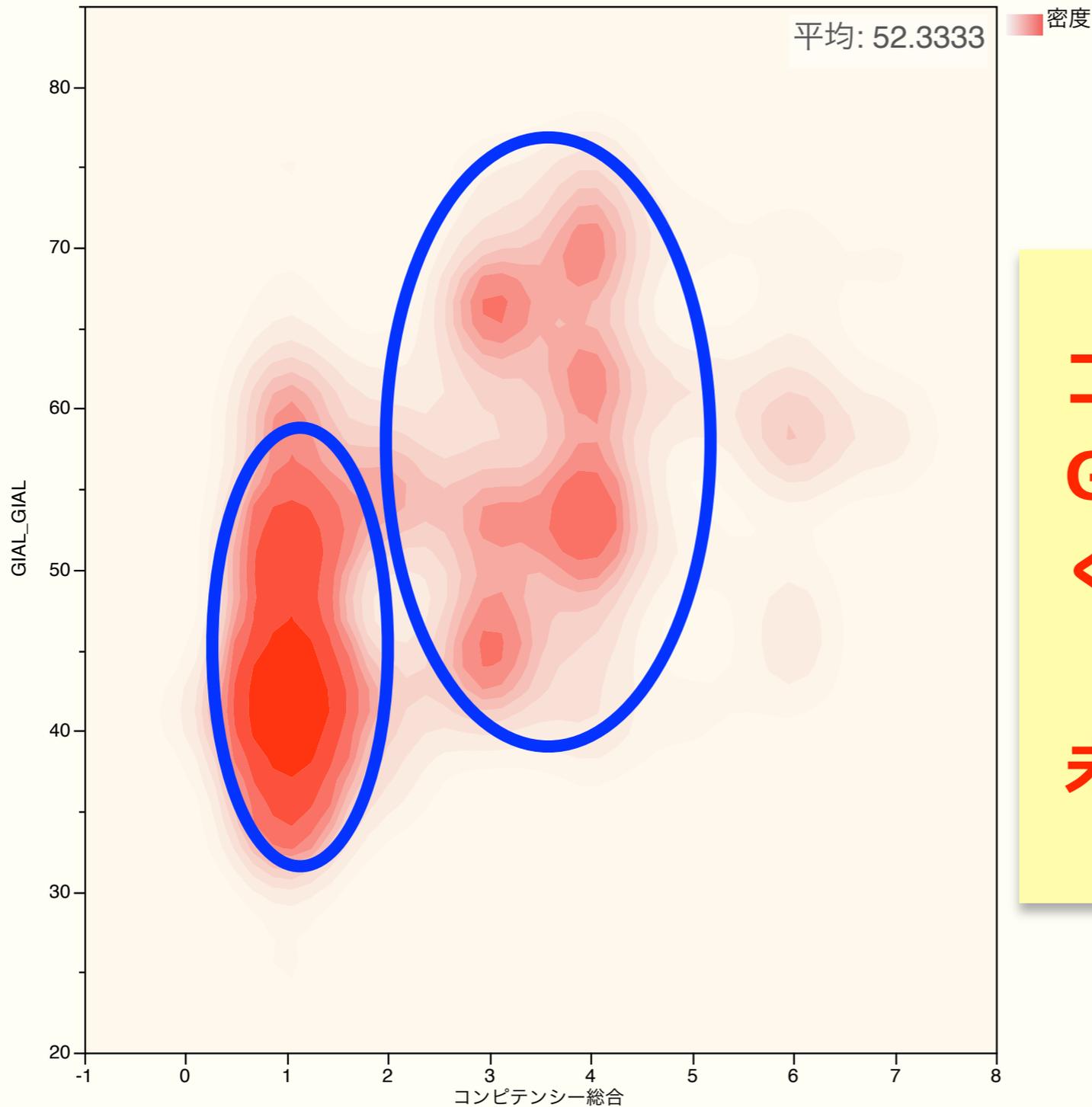
コンピテンシー vs Locus of Control

X:コンピテンシー総合,Y:Locus_Locus



コンピテンシー vs GIAL

X:コンピテンシー総合,Y:GIAL_GIAL

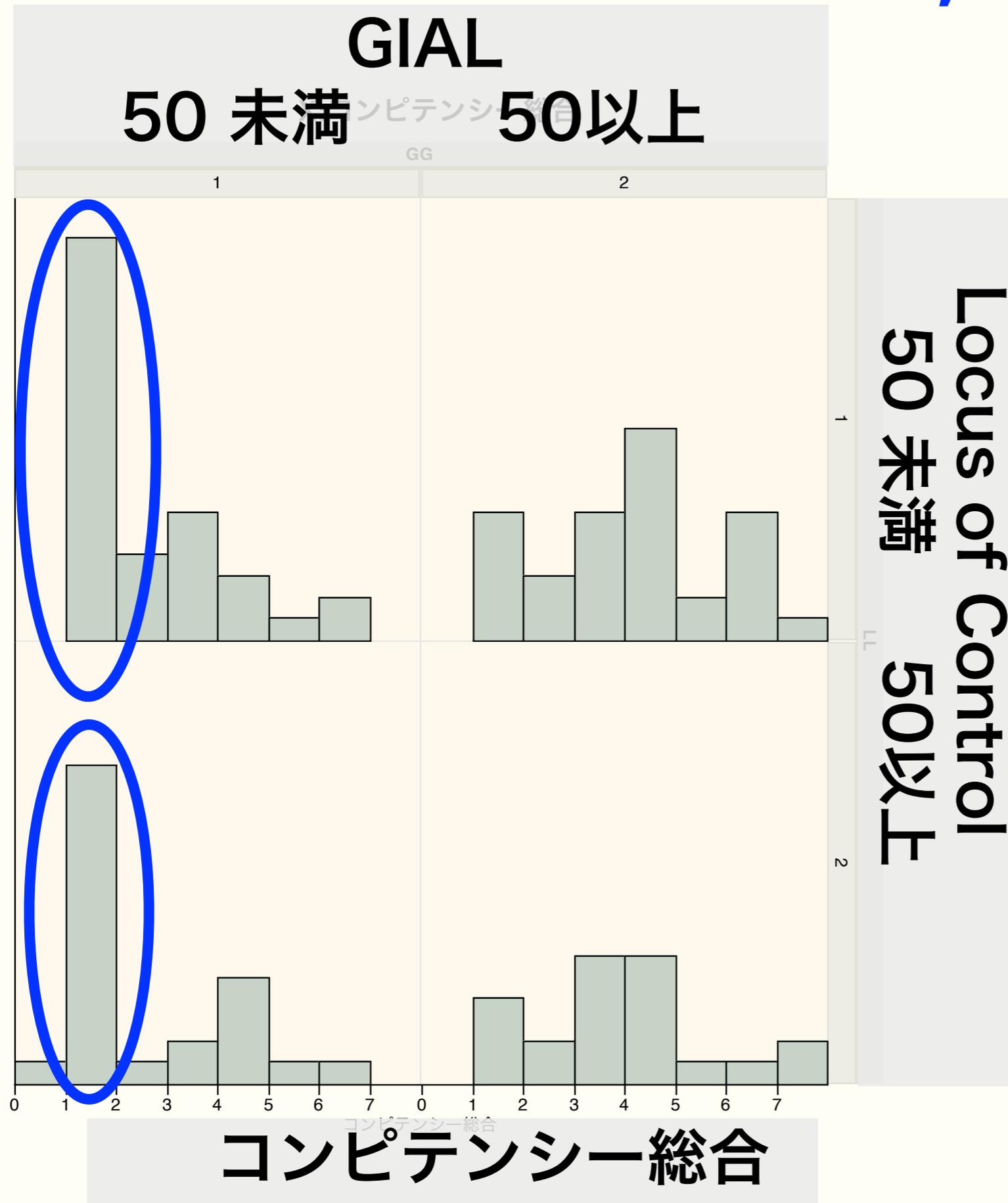


コンピテンシーが高いと
GIALが高い傾向が出て
くる。

未知・変化志向

コンピテンシー総合

コンピテンシー vs Locus, GIAL



**Locus, GIAL共に
低い場合にコンピ
テンシー 1が多い**

わかったこと

- リテラシー ●, コンピテンシー ▲
 - ▶ 印象を客観的に示す。
- リテラシーとコンピテンシーは相関しない
 - ▶ 予想よりも相関しない。
- 高リテラシー, 低コンピテンシーな学生
 - ▶ 予想よりも遙かに激しい。
- 低コンピテンシー ⇒ 低Locus, 低GIALの傾向
 - ▶ 今後の検討



自信を持ってない学生が多い

今後の課題

- 課題

- ▶ 3年生で良いのか
- ▶ 次のステップに向けての学内合意形成

- 利用法

- ▶ 学部全体の特徴を掴む
- ▶ 個別指導
- ▶ 就職内定状況と併せての解析
- ▶ カリキュラム・授業でコンピテンシーを上げる



成長を実感できる経験

まとめ

